

ドライバー不足の解消に向けて

タクシー業界では交通空白の解消に資するよう、ドライバー不足の解消に積極的に取り組んでいます。その方策の一つとして、全タク連では、自ら運営するタクシー専用求人サイト「全国タクシーJOBステーション」を立ち上げています。



全国タクシーJOBステーションの特徴

●「地図から探せる」直感的なUI

- ・GPS機能により、求職者の所在地や自宅近くの事業所の情報を自動表示
- ・「自宅通勤」という求職者の最優先事項を視覚的に解決

●応募ハードルの徹底的な排除

- ・個人情報の事前登録は不要
- ・スマホやPCから気になったらすぐWEB応募が可能



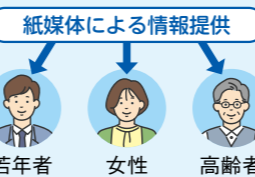
全国タクシーJOBステーション バナー

全タク連が取り組む人材確保対策の基本的な考え方

認知不足層や

●安定的な人材供給源層にアプローチする

タクシードライバーが職業選択の際の想定となっていない層（若年者や女性）や人材供給層（高齢者）に対して「働きやすい」・「安心できる」といったポジティブなイメージを「紙媒体」によって情報を提供し、認知度合いを高めて求職活動につなげる。



全タク連、都道府県協会、

●各事業者が重層的に採用活動に取り組む

全タク連

- ・求人サイトの開設
- ・イメージアップチラシの作成
- ・国への働きかけ

都道府県協会

- ・ハローワークと連携するなどによる求人
- ・説明会等の開催

事業者

- ・ポスティング
- ・折り込みチラシ等の「紙媒体」の活用

紙媒体による

●広告に関する費用対効果を高める

- ✓「自宅通勤」を最優先事項とする者をメインターゲットとする。
- ✓紙媒体の使用範囲を事業所近隣に限定する。
- ✓GPS機能を活用した求人サイトを開設し、自宅通勤の可視化を図る。
→費用負担を抑えつつ、求職者の認知→関心→応募までの行動を最大化する。

全タク連では、労働力の高齢化が進む中で安定的な人材供給源としての高齢者や現に、タクシードライバーとして活躍している高齢者が長期にわたって活躍できるよう、様々な方策をまとめたガイドラインを作成しています。

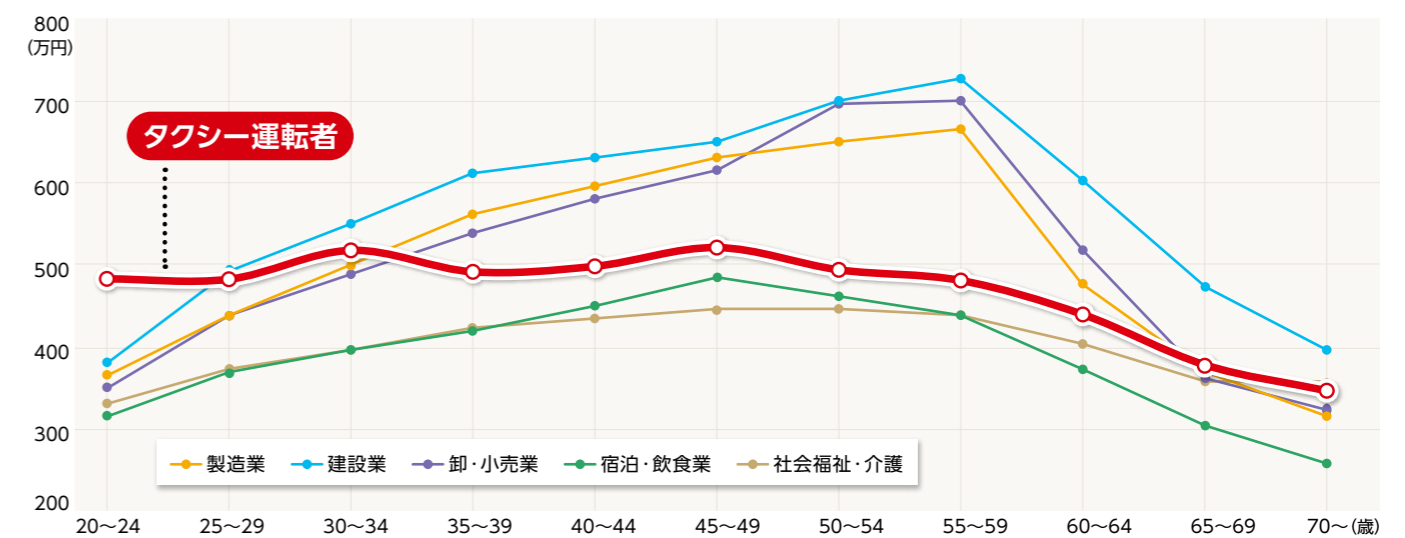


■タクシー運転者と主要産業労働者との年齢階級別の年間給与の比較

	タクシー運転者	製造業	建設業	卸・小売業	宿泊・飲食業	社会福祉・介護
年齢階級	年間推計額	年間推計額	年間推計額	年間推計額	年間推計額	年間推計額
20～24歳	483.36	366.43	383.23	352.50	316.54	330.01
25～29歳	482.87	437.44	493.88	438.58	368.02	372.01
30～34歳	517.92	501.15	552.06	490.18	397.53	395.62
35～39歳	491.87	562.94	610.16	539.46	420.96	422.16
40～44歳	498.55	594.68	630.27	582.71	448.78	433.83
45～49歳	521.31	632.60	650.11	616.51	484.16	445.62
50～54歳	494.31	650.37	699.87	697.41	462.11	446.72
55～59歳	481.35	666.01	726.53	701.30	440.86	440.79
60～64歳	440.13	479.11	605.69	519.55	374.03	405.00
65～69歳	379.05	368.42	472.64	360.92	305.75	358.56
70歳～	347.59	317.03	396.53	324.99	259.74	360.02
区分なし	450.82	553.59	592.14	562.01	402.56	414.85

(令和7年・単位=万円)

■年齢階級別年間給与の比較



- 1 主要産業との比較では、20代前半で年間推計額が400万円を超えているのはタクシー運転者だけです。
- 2 60歳以上では、タクシー運転者と製造業、卸・小売業との年間推計額の差は急速に縮まり、65歳以上ではタクシー運転者の年間推計額の方が高くなっています。

- 3 以上のように、タクシー運転者の年間推計額は、若年層及び高齢層において相対的に高い水準を示しており、これらの層についての雇用競争力がある職業です。
- 4 このグラフにはありませんが、賃金の高位層は多くの職種の中でも上位4割以内となっています。